

審査項目及び審査の視点

審査項目	審査の視点
企業実績	・ 同種又は類似事業業績が十分か
業務実施体制	・ 動員計画に妥当性があり、業務分担が不明確・不自然でないか
業務責任者 業務担当者	・ 環境部門の技術士の資格を有しているか ・ 同種又は類似事業の実績が十分か
過去の成果品	・ 冊子の構成、文書・図表作成等の表現力があるか ・ 背景、現状と課題、将来像、目標、具体的な施策、進行管理等が的確に示され、誰にでもわかりやすい内容か
業務実施方針	・ 業務目的、内容の理解度が高く、具体的な方法や進め方等が明確に記載されているか
個人情報管理	・ 個人情報の管理方法等は適切か
工程計画	・ 各工程で想定される業務量が適切に工程計画に反映され、実現可能なものになっているか
アンケート実施に対する提案	・ アンケートに回答しやすい回答フォームの提案がなされているか ・ 有効回答数を増やすための提案がなされているか ・ 会議の基礎資料となるようなアンケート項目の提案がなされているか ・ 会議参加者の選考方法について、会議の目的に沿った提案がなされているか。 ・ アンケートの集計・分析について、会議での活発な議論に繋がるような提案があり、会議の基礎資料としての的確であるか。
会議運営に対する提案	・ 会議の目的を理解し、適切に運営するとともに、参加者の意欲を高め、出席率を高めるような提案となっているか ・ 各回の企画案について、「交差性」の視点を踏まえたうえで、①参加者の環境への知識習得・意識向上につながるような講義・ガイダンスの提案、②検討事項が活発に議論できるような提案があるか。 ・ 全3回の会議構成の流れが、会議の目的に到達するために効果的な構成の提案になっているか。 ・ 報告書の提案内容が、会議内容の羅列ではなく、工夫されたものであるか。
資料全般について	・ 提案内容がわかりやすく、効果的な構成となっているか
見積書	・ 最低価格を提示した者を満点とし、以下の算出式に当てはめて算出する。 【算出式】満点×(最低価格となった総経費/提示した総経費)